

関係各位

NPO法人 都市災害に備える技術者の会



『防災講演会』のご案内

NPO 法人都市災害に備える技術者の会では、防災講演会を下記のとおり開催いたします。

今回は阪神高速道路株式会社に勤務し、(公社)土木学会でご活躍されている坂井康人氏に講演をお願いしました。講演では、阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた阪神高速道路の復旧計画や土木学会の編集委員として東日本大震災発災直後から岩手、宮城、福島の被災自治体に対して行った現地取材の内容について詳しくお話して戴く予定です。

日常業務多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

主 催：NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

後 援：日本技術士会近畿本部建設部会

日本技術士会近畿本部防災研究会

泉南市防災技術者の会 (予定)

神戸防災技術者の会(K-TEC)

公益社団法人 大阪技術振興協会

日 時：平成 29 年 2 月 4 日(土)

13 時 30 分～16 時 30 分

場 所：大阪府立男女共同参画

青少年センター(ドーンセンター)

セミナー室①

住所：大阪市中央区大手前 1-3-49 電話：06-6910-8500



テーマ：『阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえた教訓と今後の備え』

講 師：阪神高速道路株式会社 神戸管理部保全管理課 課長 坂井康人氏

参加費：無料

申込期限：平成 29 年 1 月 31 日 但し、会場の都合により先着 50 名とさせていただきます。

『防災講演会』参加申込書

NPO 法人都市災害に備える技術者の会 防災講演会に参加申し込みます。

申込日 平成 29 年 月 日

氏 名		勤務先	
メールアドレス		電話番号	

【申込先】NPO法人都市災害に備える技術者の会 事務局 太田宛

E-mail：office@toshisaigai.net

Fax：078-907-3123

『防災講演会』

「阪神淡路大震災、東日本大震災を踏まえた教訓と今後の備え」

阪神高速道路株式会社 神戸管理部 保全管理課 課長 坂井康人

【講師略歴】

1967年 大阪府生まれ

1992年 阪神高速道路公団(当時)入社
神戸復旧建設部(3号神戸線他の復旧を担当)
工務部工務第一課係長

保全交通部保全企画課課長代理
建設事業本部建設企画課課長代理

日本高速道路インターナショナル株式会社経営企画本部経営企画課
課長を経て2015年7月より現職

工学博士。専門はアセットマネジメント、政策評価、防災計画



【主な著書】 東日本大震災～3.11 あの日を

忘れないでほしい～(公社)土木学会

【講演概要】

1995年1月に発生した阪神淡路大震災は神戸市及び阪神地域の直下で発生した内陸・都市直下型地震でした。淡路島北部を震源とし、深さ16kmという比較的浅い部分で発生しました。昨年4月に発生した熊本地震と同じ断層が横にずれることにより起こったものです。大都市を直撃した大規模地震のため、電気、水道、ガス、道路、鉄道といった都市インフラが壊滅

的な打撃を受けるとともに、阪神高速道路の高架橋が倒壊する等、これまで「日本の高速道路は大震災があっても橋梁は落ちない」と言われていた安全神話が崩壊したのも記憶に新しいところです。

2011年3月に発生した東日本大震災は地球を包むプレートの境界域で起こる海溝型地震で内陸型とは異なり、三陸沖の太平洋の海底、深さ24kmを震源として発生したため、地震被害に加え津波による甚大な被害となりました。さらには福島第一原発事故によるわが国の放射能汚染による災害でもあり、震災から6年が経過した今でもその被害の爪痕が生々しく残っています。

今回の講演では、阪神淡路大震災ときに甚大な被害を受けた阪神高速道路の復旧予算の確保、復旧計画に携わった自身の経験と東日本大震災では土木学会誌編集委員として震災直後から岩手県、宮城県、福島県の沿岸自治体並びに鉄道、道路管理者等に対して行った現地取材の内容について振り返るとともに、今後の巨大地震に対する備えについてお話しいただく予定です。

「過去の巨大地震を踏まえた今後の備え」について、みなさんで考えていきましょう。

